

元気な私たちと共にお客様と地域を元氣にする
「農」と「食」をつくりませんか?



私たちは農業と食を通じてSDGs活動を実践し、協働し互いを高め、人と地域に貢献していきます。

前田農産食品社員スタッフ一同

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



会社概要

会社名	前田農産食品株式会社
代表取締役	前田 茂雄
事業内容	小麦、甜菜、ポップコーン、ひまわり、豆類生産 電子レンジ専用ポップコーン製造 食品開発加工
耕作面積	120ha
入植年	明治32年(1899年)
法人設立	昭和26年(1951年)
所在地	北海道中川郡本別町弥生町27番地1 とかち帯広空港より車で1時間(約70km)
アクセス	

受賞歴

2013年	HAL財団農業経営優秀賞
2017年	「北海道十勝ポップコーン」北海道知事賞
2018年	農林水産食糧産業局長賞
2021年	日本農業イノベーション大賞 コープさっぽろ農業賞特別賞



お問い合わせ

📞 0156-22-8680 ✉ info@co-mugi.jp

WEBサイト



前田農産



facebook

<https://www.co-mugi.jp/>

「感動」を生み出す農業
目指しているのは、



食は最大の自分コト。

北海道十勝から原点の農と食を
実践したい人を募集します。

前田農業食品株式会社 採用パンフレット



はじめまして。「温故創新」。

過去から学び変化対応力ある農業を展開すると覚悟を決め、社員達と事業をつくってきました。私たちはお客様と共に種をまき、成長し、大地を感じながら農業⇒食の提案をしていくハイブリッド型農産食品会社になります。心豊かな食文化をパン屋さんと創り、お客様の笑顔も弾かせる美味しいポップコーン作りをしています。加えて大型機械やITでの効率化、GGAP/HACCPで安全の仕組化、販売管理マネジメント導入など数々の挑戦と失敗から学び、社員スタッフと共に構築改善してきたものです。食は最大不変の自分事。北海道十勝から原点の農と食で貢献したい方を募集します。

代表取締役 前田 純雄

1974年 北海道・本別町出身。東京農業大学卒業後、
テキサスA&M州立大学、アイオワ州立大学にて米国の大規模農業経営や流通を学ぶ。
1999年 前田農産食品合資会社入社。4代目として本別町で就農。

2000年、結婚を機に横浜市より北海道本別町へ移住してきました。北海道は住みやすく、食べ物も美味しい、人も優しく素晴らしい地域です。農家のアットホームな良さを残しながら農業法人としての組織作りを目指してきました。自分たちで生産した農作物を自分たちで加工して販売する。その美味しさが、お客様の食卓を楽しく、幸せにする。それを感じてスタッフがいきいきと働く。私たちはそんな農業法人です!

常務取締役 前田 晶子

東京農業大学 造園学科卒。都内、造園施工コンサルタントでの勤務を経て現職。



01 農産チーム

農業生産から、機械・環境整備まで 多岐にわたる作業を担当

農産チームは前田農産の基盤を担う重要な部門で、作物の生育管理が主な仕事です。4月～11月は小麦・ポップコーン・ビート・ひまわりの4品目を生産します。トラクター・コンバインといった大型機械での管理・収穫作業をメインで行います。夏場は畑回りの草刈りや作物の畝間の草取りなどの体力仕事もあります。12月～3月の冬場はトラクターなどの機械類の整備・メンテナンスが主な仕事になります。



濱田 徳朗

2020年入社

北海道の大規模農業に憧れて入社しました。夏場の大きなトラクター・コンバインでの作業はもちろん、冬場の機械メンテや、工作などもスキルアップにつながります。自分たちが作っている作物(農)が商品(加工)となってお客様に届く(食)流れがわかり、勉強になると同時にそれがやりがいにもなっています。



02 食品製造チーム

農場オリジナルの 北海道十勝ポップコーンへと加工

農産チームが生産した原料に付加価値を付け加工製造するのが食品製造チームです。主な商品は電子レンジ専用「北海道十勝ポップコーン」です。北海道HACCPに基づいた衛生管理のもと製造をしています。また現在は新フレーバー開発に向けた試作品の製造や実験・研究も行っています。



渡邊 珠美

2019年入社

地元本別町に戻ってきたことがきっかけで入社しました。食品加工にかかる仕事は初めてでしたがHACCPなど衛生安全管理を学んだり、スマートに製造を進められるように機械のメンテナンスを行なうなど日々やりがいを持って仕事に取り組んでいます。

03 販売チーム

前田農産の商品を日本全国の お客様へ

商品の販売、在庫の管理、WEBサイトの管理や情報取集・発信などが、販売チームの主な仕事。お客様と一番近い位置におり、ニーズをお聞きして商品開発や農業生産に橋渡しをする大事な部門です。このほかにも日々の出荷作業やお客様対応、定期的に行われる商談会への営業出張などの仕事もあります。



千葉 葵

2019年入社

私の地元は本別町で、中学生の時に実際にポップコーン収穫を体験し、楽しく印象に残っていたため入社しました。日々仕事は大変ですが、電話対応などでお客様の声を直接聞くことができ、商品の良さや改善点などを再確認するとともにそれがやりがいにもつながっています。

前田農産食品の1年

春

spring
4月→6月

土づくり・種まき

農産部の一年は土づくりから始まります。畑の耕運、基肥散布など行い、4月中旬から春小麦→ポップコーン→ビート→ひまわりの順番で種まきを行います。



夏

summer
7月→8月

追肥・防除・除草

5月上旬から夏場にかけて雑草に対する除草、作物の病気、害虫に対する防除を行います。また安定した収量を得るために、作物の生育に合わせて追肥も行います。



小麦収穫

7月下旬から小麦収穫が始まります。秋小麦→春小麦の順で収穫していきます。収穫期は特に天候に注意しスケジュールを立て、収穫オペレータ、ダンプ運搬、乾燥機への張込みなど、担当者を決めて作業します。収穫は8月中旬まで続きます。



秋

autumn
9月→11月

秋小麦種まきから収穫ラッシュ!

9月に入ると次年度の土づくりが始まり、下旬に秋小麦の種まきを行います。種まきと並行して、ひまわりの収穫があり、10月に入ると砂糖の原料であるビートの収穫とポップコーンの収穫も行います。



冬

winter
12月→3月

農閑期は年間計画づくりや環境整備

冬場は春先にスムーズかつ安全に農業生産を行えるように、年間計画づくりや農場内の設備や周辺環境の整備を行います。また、この時期を利用し作業免許の取得を行ったり、農業生産にかかる資料やデータの取りまとめも行っています。



自社独自の乾燥・選別施設

収穫が終わるとすぐに小麦の選別が始まります。毎週一人ずつ交代で13~21時までの特別シフトを組み、一日中選別できる体制をとります。この作業を経て、小麦の収量・等級・品質が決定します。約1か月で600tの小麦を選別できます。



食品製造チームが工場で加工

収穫されたポップコーンは社員スタッフのアイデアや工夫の詰まった工場で、農場オリジナル商品の北海道十勝ポップコーンに加工されます。



選別された小麦は製粉会社に運ばれてオリジナル小麦粉として全国のパン屋さんへ出荷されます。

2016 バン用小麦粉「春よ恋」
料理王国100選受賞



収穫から製品へ加工!

販売・営業活動!

出来上がった商品の売り先や取引先の確保・拡大のため日々販売・営業活動を行っています。



畠から食卓まで! 提案型農業実践。

こうやって食べてみて!の提案をパン屋さん達と共に、お客様の美味しい!が我々のやる気の循環に!



新麦コレクション
QR



持続可能な農業生産を目指して
経営理念「私たちはお客様と共に種をまき、共に育ち、
ワクワク感動農業を実践します。」



ミネラルバランスが整う土つくり

作物生育に人が手を貸せることは土つくりです。
毎年土壌分析を毎圃場行い栄養素の過不足を分析、Ca, Mg, Kや微量元素などのミネラルバランスが良くなるよう施肥設計を行っています。また、小麦藁を酪農家の堆肥と交換し、えん麦など緑肥で有機物を還元します。農産チームが肝の美味しい農産物の土台つくりです。

農閑期⇒付加価値創造期に！
でも、ポップコーン栽培は試行錯誤の連続。

農閑期の雇用維持と付加価値向上を目的に2013年～
ポップコーン栽培を開始しました。初年度は霜、2年目は
乾燥不備と大失敗。生産加工の課題を解決するため本場
アメリカにて研修し、北海道十勝での栽培可能法を試行
錯誤で開発。今では美味しいポップコーンができるようになりました。

十勝ポップコーン誕生秘話QRコード



スタッフひとりひとりが輝く充実した研修・資格取得制度

農産チームでは多種多様な機械を取り扱うため、それに応じた資格や免許が必要になります。前田農産では資格取得の補助制度(2/3会社負担)もあり、冬場など農閑期をうまく利用した資格取得が可能となっています。また加工チームや販売チームでも様々な研修や資格取得ができます。

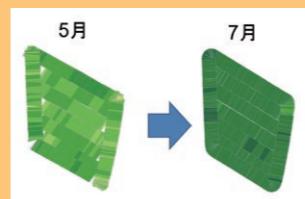
	中型車	大型特殊	けん引	フォークリフト	移動式クレーン	玉掛け	車両系建設機械	Word Excel研修	簿記3級	食品衛生責任者
農産チーム	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名			1名
食品製造チーム					1名					
販売チーム				2名				1名	1名	1名

小麦のレーザー生育 パン屋さんの「美しい」の 証拠をつかむ

小麦追肥作業では、収量性と品
レーザー式生育センサーを導入し
値化し窒素肥料散布を適時適
が可能になっています。またパン
小麦粉つくりの元データとしても
にもGPS自動操縦のトラクターが
も十分に大型トラクターでの作業

センサーで しい」の

質安定化を目的に
ています。葉色を数
量、自動調整散布
屋さんたちの求める
使用しています。他
数台あり、初心者で
が可能です。



パン屋さんと共に種をまき国産小麦の
パン文化を創る美味しいパンの原材料を
全国60のパン屋さんに提供しています。



安全の GGAP・HAC 継続

社員スタッフが増えれば安全・リ
くなります。そこで、食品製造で
し、原料は農産チームが2015年
を導入。社員同士で生産計画、
環境の安全の危害分析と

Global
GAPとは？

仕組化 CPの導入と 認証

スクの尺度の違いが発生しやす
は北海道HACCPでリスク評価
～国際水準のGlobalGAP認証
履歴、原料検査、働く人や栽培
見える化を図っています。



一般消費者の方に
美味しさを提供します



累計250万個突破!国産初!

レンチン十勝ポップコーン
輸出で世界の笑顔も弾かせます!



社員育成体制

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	6年目以降
農産チーム	農作業機械知識・操作技術 機械メンテ・整備技術 GGAP研修 作業免許取得	GGAP研修リーダー 施肥・農薬管理担当	利益・農作業経費担当	年間作付計画作成	農産チームリーダー 農場マネージメント		
食品製造チーム	食品加工の基礎知識・技術 SS及び一般衛生管理	食品衛生責任者 食品表示法と食品表示	HACCPに基づいた衛生管理 新商品の製造ラインの構築 新商品開発	新商品の製造ラインの構築 新商品開発	食品製造チームリーダー		
販売チーム	営業事務・WEBショップ管理 受発注・出荷業務 商談会研修	広報・宣伝企画 マーケティング・商品開発	WEBショップ販売責任者 商談会企画・運営	マーケティング・商品開発 商談会企画・運営	輸出事業 営業責任者・販売計画作成		